

施政方針の発表と報告は必要不可欠

施政方針の発表会、報告会を開催し
市長が市民に説明をしたらどうか

発表会、報告会を行う考えはない
議会への報告があくまで主である



▼左の写真は2017年3月21日の一般質問のひとコマ。質問する私と答弁する中村市長です。インターネットで録画を見ることができます。

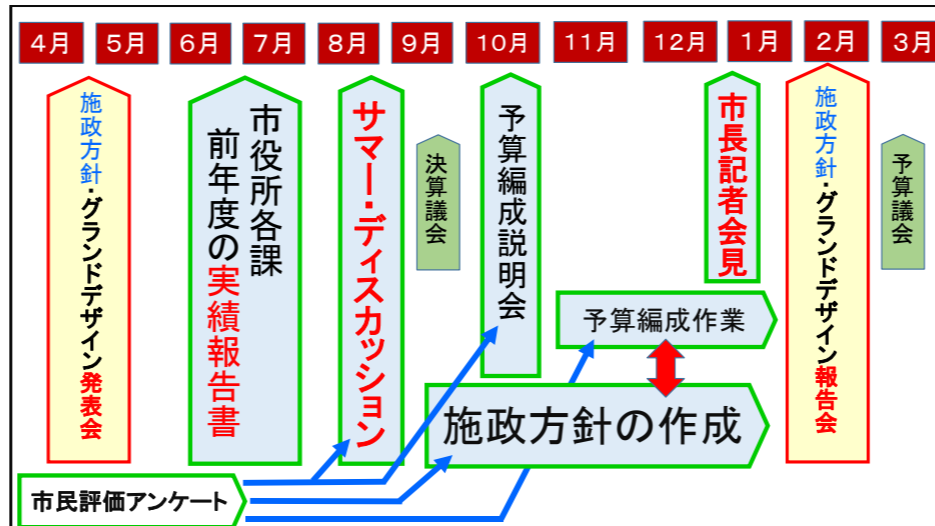
ぬま健司の提言

- 市長の施政方針説明を録画で発信したらどうか
- 施政方針の発表会、報告会を開催したらどうか
- 施政方針を推進する各部の計画の公表を
- 市民100人の審査委員会を設置したらどうか
- 各部対応の市民委員会を設置し市民の意見を政策に反映させたらどうか

中村市長の答弁

- 録画面での周知は予定していない
- 行う考えはない
- 各部の目標の作成、公表は今後検討
- 市民の審査を受ける考えはない
- 市民委員会を設置する考えはない

施政方針作成過程の大改革を 市民意見の聴取と職員内部の議論が不足



上図は施政方針の作成と市民への説明に関する私の提言です。古賀市では市民の評価を毎年度聴取していません。また、職員が前年度実績をもとに夏ころに集中的に議論する習慣もきわめて不十分です。市民評価を反映させる計画行政になっていません。中村市長の答弁は「やる気無し」です。古賀市の未来のために大改革が必要です。

古賀市議 ぬま健司のニュースレター

第6期 第6号(第1刷)
2017年5月16日発行

私のビデオレターは
You Tubeでも見れます!



古賀市議会議員
奴間 健司



ぬま健司後援会事務所
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話/FAX: 092(944)2639

私の提言が一部実現 特定健診の自己負担を半額に

特定健診の自己負担

1000円 → 500円

受診率向上、委託料約603万円減

乳がん検診の自己負担

1500円 → 1000円 → 1900円 → 1500円

集団検診・40代の場合

個別検診・40代の場合

古賀市は2017年度の特定健診自己負担を500円に値下げします。受診率アップの対策の一つです。

私は昨年9月議会で自己負担無料化を提言しましたので、一

部実現したことになります。2016年度の特定健診受診率は30%程度で目標の35%を達成できませんでした。特定健診・がん検診を受診することを呼びかけます。

ぬま健司・市政報告会のお誘い

- 5月27日(土) 午後3時~午後4時半 千鳥南区公民館
- 5月27日(土) 午後7時~午後8時半 ぬま健司事務所

健康づくり推進本部の設置を 市全体の「指令塔」が不在

市長をトップとする健康づくり推進本部(司令塔)

2018年度から数年単位の重要計画
古賀市健康政策の根幹

- 第2次健康増進計画
- 特定健診等実施計画
- 食育推進計画
- 国保データヘルス計画

12ヶ所のヘルステ
設置・運営
特定健診受診率
35%達成

- 健康づくり推進協議会(有識者等15人、年4回)
- 健康づくり100人ワークショップ(年8回)

古賀市は2018年度から数年単位の健康づくり計画を4本策定します。医療費は上昇し、特定健診受診率は伸び悩んでいます。これらは極めて重要な計画です。しかし策定は担当課任せで、市

推進本部」を設置し、「二つのエンジン」で古賀市のまちづくりを推進する必要があります。健康づくりはまちづくりの基本です。私はこの提言を実現するために全力を尽くす覚悟です。

長をトップとする「司令塔」がありません。すでに設置されている企業誘致推進本部とあわせて「健康づく

西鉄路線バス 平日7便の減便 利用しやすいダイヤではない

～移動手段の確保計画は急務～

市内を走る西鉄路線バスが4月1日から平日98便が91便に、土日70便が68便に減便。運行が西鉄本社に移行したことが要因です。

古賀市議会は3月27日の本会議で、減便による影響を早い時期に極力回避すること、もしくは代替する措置を講じることを求める「決議」を可決しました。議会が行ったアン

ケートで「増便」要望が強かったことを市長に伝えていました。今回の「減便」は市民ニーズに逆行するものと言えます。

中村市政では、ますます移動しにくい古賀市になりそうです。

私は、市民が利用しやすい公共交通のあり方を今年度中に精力的に検討すべきだと思います。

減便の実態 夕方に約2時間の空白!?

西鉄バス発車予定時刻表・古賀駅東口・平日
2017年4月1日のダイヤ改正による減便の状況

行先	6	7	2017年4月1日
行先	グリーンパーク 市役所・工業団地	海の里 東医療センター	減便数
5			
6	59		0便⇒1便 1便増
7			1便⇒0便 1便減
8	15		1便⇒1便
9	26	31	3便⇒3便
10	30		1便⇒1便
11			
12			1便⇒0便 1便減
13	03		2便⇒2便
14		06	1便⇒1便
15	10		1便⇒1便
16	12		1便⇒1便
17		26	2便⇒1便 1便減
18	00		2便⇒1便 1便減
19	55	01	2便⇒1便 1便減
20			1便⇒0便 1便減
21			
22			1便⇒0便 1便減
13便⇒9便 4減便	5便⇒4便 1減便	2便⇒2便 増減なし	5便減

バス停・古賀駅東口の課題

4月1日のダイヤ改正で5便の減便となった

12時台、17時台、20時台、22時台、はゼロ便となった

18時00分のあと19時55分まで2時間近くも間隔がある

改善方法はないだろうか?

- ①循環型へのルート改善
- ②1時間に一本の定時運行
- ③空白時間帯の補完手段 (ミニバス、コミュニティバス)

西鉄への赤字補てん 4152万1千円の根拠

西鉄への補助額の根拠は下図の通りです。人件費が上がり、運賃収入が減れば補助額は上がる一方です。

利用しやすいダイヤ・路線に改善し運賃収入を上げる工夫が必要で

す。西鉄まかせではなく、行政が改善策を打ち出すべきです。

私は、企画は行政が責任を持ち、運行管理を民間にお願いする「公設民営」方式が望ましいと思います。

運行経費見込み (A)		7746万2千円
内 訳	運送人件費	3675万7千円
	燃料油脂費	887万3千円
	車両費	205万9千円
	その他管理費	2977万3千円
運賃収入見込み (B)		3594万1千円
運行補助額 (赤字補てん額) (A-B)		4152万1千円

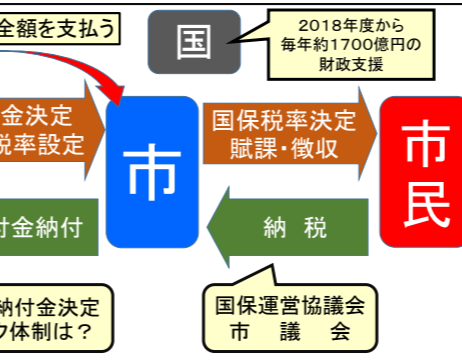
2018年4月の国保広域化 国保税再値上げは絶対反対

～国保税値下げに全力注げ～

国民健康保険の体制が2018年4月から右図のように変わります。今年の夏から秋にかけて市が県に納める納付金が県から示される予定です。

納付金は市の所得や医療費の水準で決められるということですが具体的にはまだ不明です。

ただ古賀市は2016年度に一人当たり16%の国保税率アップをしています。私はこれは市長の情勢見通しの誤り等による「失策」だったと認識しています。



来年4月以降、再びアップするよなことは絶対に避けるべきです。中村市長は「できることなら下げたい」と答弁しています。

私は2018年4月以降の国保税の税率を下げるために全力を注ぐことを中村市長に求めました。

市民の声は大切なヒント



(声) 千鳥が池の淵が侵食され柵が倒れそう。放置すれば危険。

(対策) 今年度、転落防止柵の補強工事を69mにわたって行ないます。

(声) テニスコート整備の方針もいまま使用料を取るのはおかしい。

(対策) 10月までに関係者と十分協議して対策を検討します。



(声) 千鳥が池公園の野球場外野の草がボウボウで危ない。

(対策) 乗用草刈り機で草刈りを行い危険を防止します。

「ぬまけんの古賀市に乾杯」動画を発信中! すでに100本発信、再生は3万回越す You Tubeでもご覧になれます!

私は昨年12月から動画による情報発信をスタート。鶴瓶さんの真似をして『ぬまけんの古賀市に乾杯』ビデオレターと命名しました。

私の見解発表、まちづくりや市民団体の活動、市内企業の紹介などです。FacebookやYouTubeでも見ることが出来ます。ぜひご覧ください!



4月からスタートした病児保育を紹介するビデオレターの画面

古賀市に関する不祥事について 市長は説明責任と再発防止に全力を

最近古賀市に関する不祥事がテレビや新聞で報道されるという事態が続きました。

3月13日には県営河川から違法(超過)取水していた問題が報道されました。4月27日には経営企画課長が自動車窃盗容疑で逮捕されたと報道されました。「飲んでいない」という課長の言葉も報じられました。

こうした事態は極めて遺憾であり許されることではありません。古賀市の良さを発信しようという時に大きなダメージでもあります。

中村市長のもとで市役所内部がたんでいるのではないかと思います。古賀市の目標を明確にし、職員のやる気をアップし本来の力を発揮できるよう努力すべきです。古賀市は大きな岐路に立たされています。

後援会への入会・ご協力を



カンパ、会費は下記口座へ

郵便振替 名義 ぬま健司後援会
口座番号 01780・1・8962

- ぬま健司のプロフィール
- 1952年4月17日生まれ
 - 千葉大医学部中退・社会の病を治す医者を目指し現在に至る
 - 2011年5月から4年間、議長を務める
 - 現在6期目(議会運営委員会副委員長)
 - 早稲田大学マニフェスト研究所議事改革度調査で九州・沖縄で1位の評価
 - 五島、糸島、伊万里等の各市議会で講演
 - 趣味は写真撮影、ハイキング、ジム通い
 - 家族は妻・明子(精神保健福祉士)、息子・健明(義肢装具士)、娘・夏美(管理栄養士)。
 - 子どもは花見小、古賀北中卒業。